

英洛陽の祇園寺を以てと

一愛宕山大権現

丹波守愛宕山を勧進し、この社よりて祭
神二座伊弉諾尊火産靈尊なり葦原小
定記曰戊亥仁當天王都守護神明坐す
即天神也七陰神也火災於永久退年爲
也止天若宮仁和火産靈於置玉奈利偏
仁帝都靜謐乃基也又類聚国史曰
清和天皇貞觀十四年十一月二十九日
從五位下阿當護神從五位上云々

三代天皇御より

羽源託す巻元内平均の条より酒田の
城を築き事偏し伊豆の武勇によりとを
告ぐ。是係人力の及ぶにあらず愛宕山
御軍地蔵を年来乞ふなり。今に思儀
の瑞現ありて伊豆の陣所よりた
かくふ勅を蒙る。然るに面いものみなる
を偲出きて軍評定所の指図より
平安の後爰より告曰我は是愛宕山八天物の
更なる所坊務歟御軍の化育なりけ形を